

【土木技の基礎知識】 単独版(スタンドアロン)と ネットワーク版(クライアント/サーバー) の見分け方

土木技サポートセンター
最終更新日：2008年12月22日

概要

土木技シリーズは2002年12月のリリースから現在まで、書類の管理(ドキュメントソリューション)や電子納品に対応するために、さまざまな製品を発表してきました。

本書では、土木技シリーズの中で、どの製品においても共通の部分である「スタンドアロン版とクライアント/サーバー版の見分け方」の調べ方について、紹介します。

本手順書の操作が対象のお客様

- 土木技をご利用のお客様

対応可能な土木技のタイプ

土木技の種類	 土木技 CC/RC	 土木技 CALS
対応可能なバージョン	全バージョンで可能	全バージョンで可能
スタンドアロン		
サーバー		
クライアント		

土木技のタイプ

土木技は、大きく分けて以下の2種類に分かれます。

- 単独版 (スタンドアロン)
- ネットワーク版 (クライアント/サーバー)

これらには以下の特徴があります。

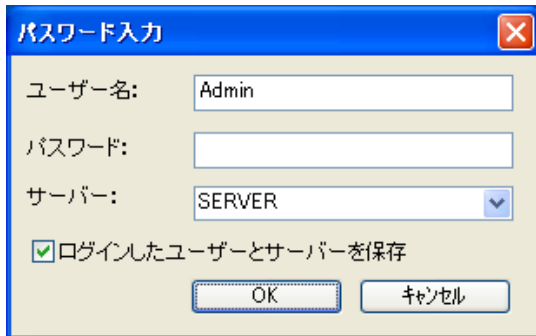
- 単独版 (スタンドアロン)
 - 土木技を使用しているパソコンに、土木技で作業したデータを保存する。
 - ネットワーク環境が整備されていなくても、土木技を使用することができる。
- ネットワーク版 (クライアント/サーバー)
 - ネットワークを利用して、それぞれのパソコンで作業した土木技のデータを、1つのパソコンに集中して保存することができる。
 - 1つの工事に対する書類を複数人が分担して作成することができる。

< 土木技単独版(スタンドアロン)とネットワーク版(クライアント/サーバー)の見分け方 >

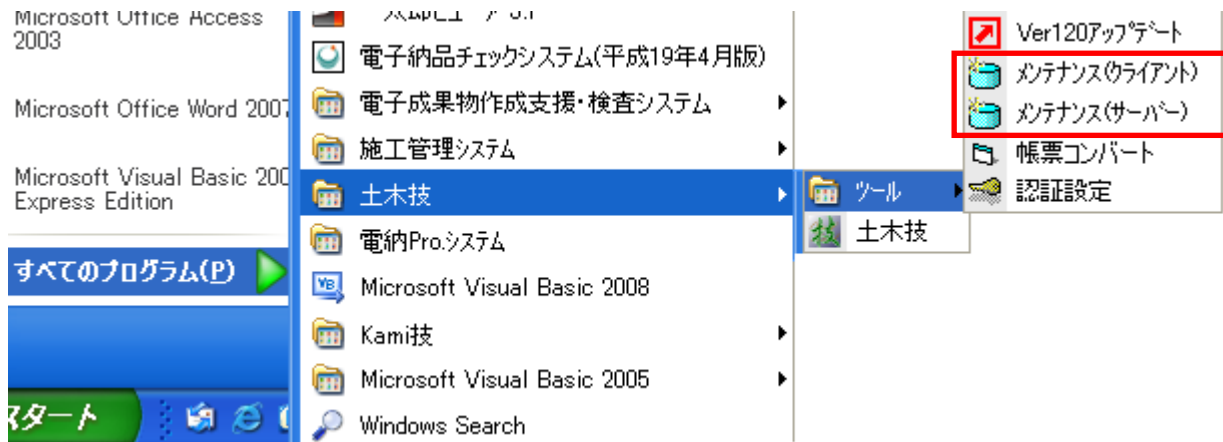
単独版(スタンドアロン)とネットワーク版(クライアント/サーバー)の見分け方

土木技を起動したときに、「パスワード入力」画面が表示される場合、クライアントを使用していると判断できます。(下図参照)

下記画面が表示されずに土木技が起動する場合、スタンドアロンを使用していると判断できます。



また、以下のように「スタート」メニューから「すべてのプログラム」>「土木技」>「ツール」と選択した中に、「メンテナンス(クライアント)」があれば、クライアントがインストールされており、「メンテナンス(サーバー)」があれば、サーバーがインストールされていると判断できます。



土木技 CALS をご利用の場合は、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」>「**施工管理システム**」>「ツール」と選択します。

以上